

政策番号	6	政策分野	文化
------	---	------	----

基本方針	くらしのなかに文化芸術がいきいきと息づき、ひとびとの豊かな感性が育まれるとともに、そこで生まれる活力やにぎわいが、まちの活性化につながることをめざして、文化芸術とまちづくりを一体化させた取組を促進する。このような取組を通じて、京都を魅力に満ちあふれた世界的な文化芸術都市として創生する。
------	---

担当局	文化市民局	共管局	
-----	-------	-----	--

政策に関する 主な分野別計画等	第2期 京都文化芸術都市創生計画, 京都文化芸術プログラム2020 ⁺
--------------------	--

政策の評価

1 客観指標評価

政策の客観指標評価		平成23 評価値	令和2 目標値	平成 29	平成 30	令和元年度評価				
						前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1	市民ふれあいステージ出演申込数(件)	103	—	a	d	88	96	99	97.0%	b
2	京都市芸術文化特別奨励制度応募者数(件)	77	82	a	d	62	68	82	82.9%	c
3	文化施設の年間入場者数(人)	3,125,718	—	b	a	3,412,973	3,046,188	3,412,973	89.3%	c
4	本市が指定, 登録等をした文化財等の数(件)	72	—	-	-	50	80	54.4	147.1%	a
				a	b					b

施策の客観指標評価		評価		
施策番号	施策名	平成29	平成30	令和元
0601	すべての市民が京都のまちを支え, かつ誇りにできる文化芸術創造のまちづくり(4指標)	d	c	b
0602	歴史に培われた和の文化の継承と新たな創造活動の支援(3指標)	c	d	d
0603	世界的な交流を視野に入れた文化芸術環境の向上(2指標)	a	c	d
0604	かけがえのない文化財の保護, 活用と伝承(3指標)	a	a	a
(4施策平均)		b	c	c

政策の客観指標総合評価 (政策の客観指標評価: 施策の客観指標評価=1:0.5)		平成29	平成30	令和元
		a	b	b

2-1 市民生活実感評価

番号	設問	評価		
		平成29	平成30	令和元
1	京都では, 文化芸術にかかわる活動が盛んである。	a	a	a
2	市民の生活に文化芸術がとけ込んでいる。	c	b	c
3	文化・芸術活動によって, 京都のまち全体が活気づいている。	b	b	b
4	文化財が社会全体で大切にされ, 地域の活性化にもつながっている。	b	b	b
政策の市民生活実感調査総合評価		b	a	b

2-2 政策の重要度(27政策における市民の重要度)

平成29年度		平成30年度		令和元年度	
順位	%	順位	%	順位	%
18	80.0%	17	82.1%	19	78.7%

3 総合評価

B	政策の目的がかなり達成されている		
【客観指標総合評価】 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。		平成30年度	B
【市民生活実感調査総合評価】 ☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。		平成29年度	A
【総括】 ・市民生活実感評価において「市民の生活に文化芸術がとけ込んでいる。」の評価がcとなる一方で、客観指標評価において「市民ふれあいステージ出演申込数」が増加するなど、客観指標総合評価はb評価となった。これらのことから、総合的に判断して、政策の目標はかなり達成されていると評価できる。			

今後の方向性の検討

<この政策を構成する施策とその総合評価(客観指標評価＋市民生活実感評価)>

施策番号	施策名	総合評価		
		平成29	平成30	令和元
0601	すべての市民が京都のまちを支え、かつ誇りにできる文化芸術創造のまちづくり	C	B	B
0602	歴史に培われた和の文化の継承と新たな創造活動の支援	B	C	C
0603	世界的な交流を視野に入れた文化芸術環境の向上	A	B	C
0604	かけがえのない文化財の保護、活用と伝承	A	A	A

<今後の方向性>

①すべての市民が京都のまちを支え、かつ誇りにできる文化芸術創造のまちづくり

・文化庁の全面的な移転を控え、文化を基軸としたまちづくりをこれまで以上に推進し、世界的な文化芸術都市・京都の創生を目指すため、継承と創造に関する人材の育成等、創造環境の整備、文化芸術と社会の出会いの促進の3点を重視し、文化芸術によるまちづくりを進める。

②歴史に培われた和の文化の継承と新たな創造活動の支援

・継承と創造に関する人材の育成においては、伝統芸能文化の更なる創生に向けた取組や、芸術家の育成・活動支援、文化芸術に親しみ、その楽しさを知る子どもたちの育成に取り組む。

③世界的な交流を視野に入れた文化芸術環境の向上

・ロームシアター京都については、新たな文化創造の場、世界文化自由都市・京都を発信する拠点として魅力ある自主事業の展開に努め、他の文化施設とも連携した事業を展開する。
 ・また、アート×サイエンス・テクノロジーをテーマに文化芸術の新たな可能性と価値を世界に問う新しい形態の国際的な文化・芸術の祭典「KYOTO STEAM-世界文化交流際-」を開催する。

④かけがえのない文化財の保護、活用と伝承

・引き続き、指定・登録の対象物件調査に取り組むとともに、“京都を彩る建物や庭園”については、ホームページでの情報発信のみならず、区役所や関係団体イベント等でのチラシ配架などによる積極的な周知を行い、選定件数を増やすことで、京都の歴史や文化を象徴する建物や庭園の維持・継承の促進を図る。また、“京都をつなぐ無形文化遺産”の選定及び普及啓発を通じ、価値ある無形文化遺産の魅力発信とともに、市民的気運の盛り上げを図っていく。

政策名	6	文化						
指標名	市民ふれあいステージ出演申込数（件）							
担当部室	文化芸術都市推進室	連絡先	3 6 6－0 0 3 3					
1 指標の説明								
市民ふれあいステージ（市民に文化活動の場を提供し、多くの方が気軽に文化芸術に触れる機会を創出するため、市民参加型の催しとして、毎年10月に開催）への出演申込数								
2 指標の意味		3 算出方法・出典等						
文化芸術が市民の日常生活の中に溶け込んでいることを示す指標		出典：事業担当課調べ						
4 数値								
10年後（令和2年度）の目標値	平成23年度評価値	令和2年度目標値	根拠					
	103	—	平成27年度～令和元年度実績の最高値を目指す					
	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値				
	平成29年度	平成30年度		数値	根拠	達成度		
数値	88	96	8件増	99	過去5年間（平成25～29年度）の最高値（平成28年度）	97.0%		
	全国順位	中長期目標			備考	H25 86件 H26 92件 H27 94件 H28 99件 H29 88件 H30 96件		
		数値	目標年次	達成度			根拠	
数値								
5 評価基準				6 基準説明		7 評価結果		
最新の数値が、過去5年間の a：最高値以上 b：上中間値（最高値と平均値の間）以上～最高値未満 c：平均値以上～上中間値未満 d：下中間値（平均値と最低値の間）以上～平均値未満 e：下中間値未満				申込数は毎年変動するものであり、一定安定的な数字と比較する必要があるため、過去5年間の数値をもとに、基準を設定した。 最高値：99（平成28年度） 平均値：92 最低値：86（平成25年度）		平成29	平成30	令和元
						a	d	b

指標名	京都市芸術文化特別奨励制度応募者数（件）							
担当部室	文化芸術都市推進室	連絡先	3 6 6－0 0 3 3					
1 指標の説明								
京都市芸術文化特別奨励制度（将来に向けて積極的な芸術文化活動を行う、若い芸術家等の育成を目的として奨励金を交付）への応募者数								
2 指標の意味		3 算出方法・出典等						
文化芸術の新たな創造活動が活発に行われていることを示す指標		出典：事業担当課調べ						
4 数値								
10年後（令和2年度）の目標値	平成23年度評価値	令和2年度目標値	根拠					
	77	82	平成24～26年度実績の平均値を目指す（京プラン実施計画 第2ステージ）					
	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値				
	平成29年度	平成30年度		数値	根拠	達成度		
数値	62	68	6人増	82	平成24～26年度実績の平均値	82.9%		
	全国順位	中長期目標			備考	H24 72件、H25 85件 H26 90件、H27 57件 H28 99件、H29 62件 H30 68件		
		数値	目標年次	達成度			根拠	
数値		82	令和2年度	82.9%			京プラン実施計画 第2ステージ	
5 評価基準				6 基準説明		7 評価結果		
単年度目標値に対する達成度が a:100%以上 b:90%以上100%未満 c:80%以上90%未満 d:70%以上80%未満 e:70%未満				達成度100%以上をaとし、以下10%刻みで基準を設定		平成29	平成30	令和元
						a	d	c

政策名	6	文化					
指標名	文化施設の年間入場者数（人）						
担当部室	文化芸術都市推進室	連絡先	3 6 6－0 0 3 3				
1 指標の説明							
文化施設（動物園，美術館，二条城，無鄰菴）の利用者数 ※平成29年度以降，美術館が再整備により閉館しているため，美術館の利用者数を除く							
2 指標の意味		3 算出方法・出典等					
幅広い市民が多彩な文化芸術に親しんでいることを示す指標		出典：事業担当課調べ					
4 数値							
10年後（令和2年度）の目標値	平成23年度評価値 3,125,718	令和2年度目標値 —	根拠 —				
	前回数値 平成29年度	最新数値 平成30年度	推移	単年度目標値		達成度	
数値	3,412,973	3,046,188	366,785人減	数値 3,412,973	根拠 過去5年間（平成25～29年度）の最高値（平成29年度）	89.3%	
	全国順位	中長期目標			備考	H25 2,399,423人(全体3,304,860人) H26 2,368,061人(全体3,024,215人) H27 2,998,166人(全体4,401,124人) H28 2,911,301人(全体4,089,098人) H29 3,412,973人(美術館閉館中) H30 3,046,188人(美術館閉館中)	
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値							
5 評価基準				6 基準説明		7 評価結果	
最新の数値が，過去5年間の a：最高値以上 b：最高値未満～上中間値（最高値と平均値の間）以上 c：上中間値未満～平均値以上 d：平均値未満～下中間値（平均値と最低値の間）以上 e：下中間値未満				利用者数は毎年変動するものであり，一定安定的な数字と比較する必要があるため，過去5年間の数値をもとに，基準を設定した。なお，平成29年度から美術館が閉館しているため，美術館の入館者数を引いた人数で基準を設定する。 最高値：3,412,973（平成29年度） 平均値：2,817,985 最低値：2,368,061（平成26年度）		平成29 b 平成30 a 令和元 c	

指標名	本市が指定，登録等をした文化財等の数（件）						
担当部室	文化芸術都市推進室	連絡先	3 6 6－1 4 9 8				
1 指標の説明							
本市が指定，登録等をした文化財等（「京都市指定・登録文化財」，「京都を彩る建物や庭園」，「京都をつなぐ無形文化遺産」）の数							
2 指標の意味		3 算出方法・出典等					
かけがえのない文化財が保護されていることを示す指標		算出方法：事業担当課調べ					
4 数値							
10年後（令和2年度）の目標値	平成23年度評価値 72	令和2年度目標値 —	根拠 —				
	前回数値 平成29年度	最新数値 平成30年度	推移	単年度目標値		達成度	
数値	50	80	30件増	数値 54.4	根拠 過去5年間（平成25～29年度）の平均値	147.1%	
	全国順位	中長期目標			備考	指定・登録文化財のみならず，これに準ずる文化財（文化遺産）についても，広く保存・活用の対象としていく方針にあり，平成30年度以降，対象範囲を変更する。 H25 65件，H26 52件， H27 42件，H28 63件， H29 50件，H30 80件	
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値							
5 評価基準				6 基準説明		7 評価結果	
最新数値の単年度目標値に対する達成度が， a：100%以上 b：80%以上，100%未満 c：60%以上，80%未満 d：40%以上，60%未満 e：40%未満				指定・登録等の件数は毎年変動するものであり，一定安定的な数字と比較する必要があるため，過去5年間の数値をもとに，基準値を設定した。 平均値：54.4件		平成29 - 平成30 - 令和元 a	